

kagoshima local network

みなみネット

種子島と琉球 400年交流学ぶ

西之表で研究発表会

名桜大学（沖縄県名護市）国際学群の屋良健一郎上級准教授（36）と学生5人が、種子島と琉球の交流史をテーマに西之表市で研究発表会を開いた。市民約30人が聴講し、中世から幕末にかけて約400年に及んだ両者の交流の意味を学んだ。

学生たちは両者を行き交った昆布や扇子、泡盛などの交易品や、船頭らが琉球から種子島に持ち込んだチクテンやヨンシー節などの伝統芸能について、それぞれ報告した。

聴講した日高志織さん（47）は「種子島と沖縄の深い縁を総合的に知れて、とても勉強になった」と話した。

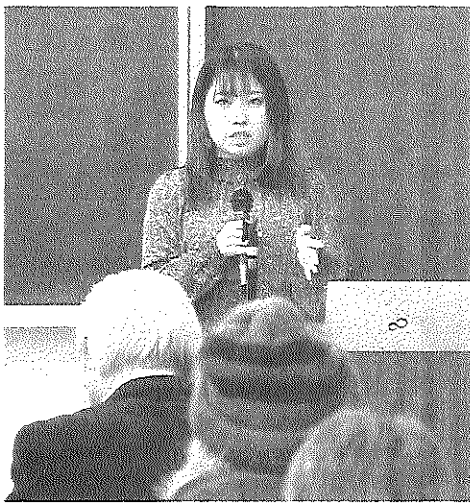
発表会では、同市の市史編集委員を務める屋良上級准教授が、1400年代に現在の屋久島や三島村に勢力範囲を広げた種子島氏が、琉球王国と独自に交易を行っていたことや、1500年代末、島津氏の支配下に入ってから幕末まで琉球との交渉役を担っていたことを説明した。

学生たちは両者を行き交った昆布や扇子、泡盛などの交易品や、船頭らが琉球から種子島に持ち込んだチクテンやヨンシー節などの伝統芸能について、それぞれ報告した。

聴講した日高志織さん（47）は「種子島と沖縄の深い縁を総合的に知れて、とても勉強になった」と話した。

発表会では、同市の市史編集委員を務める屋良上級准教授が、1400年代に現在の屋久島や三島村に勢力範囲を広げた種子島氏が、琉球王国と独自に交易を行っていたことや、1500年代末、島津氏の支配下に入ってから幕末まで琉球との交渉役を担っていたことを説明した。

学生たちは両者を行き交った昆布や扇子、泡盛などの交易品や、船頭らが琉球から種子島に持ち込んだチクテンやヨンシー節などの伝統芸能について、それぞれ報告した。



琉球から種子島にもたらされた伝統芸能について報告する名桜大学生。西之表市の鉄砲館



元PTA会
物でオーケシミンに仕品されていることを知った。以前から好きな言葉だった「大道無門」が、里見本人によって書かれていることに感
寄贈した書「大道無門」の題、里見弾への思いを語る田中憲夫さん
＝薩摩川内市

郷土の近代史 遺跡が物語る

奄美で講演会

奄美市の県立奄美図書館で「近代遺跡を活かした郷土教育」と題する講演会があった。瀬戸内町教育委員会埋蔵文化財担当の鼎文太郎さん（44）が、町内にある幕末維新期の久慈白糖工場跡や戦争遺跡を紹介し、後世に伝える重要性を訴えた。



瀬戸内町の近代遺跡について話す鼎文太郎さん
＝奄美市名瀬の県立奄美図書館

とで、本書を著ちが、とをさつ、いた、紹介、述べた

茶の間



思春期の子どもたちに「性」について正しく理解してもらおう講演活動を続けている薩摩川内市の岩元妙子さん（67）のⅡ写真が、厚生労働大臣表彰を受けた。「人工中絶など普段の学校教育では取り上げにくい内容もあるが、子どもだけでなく、先生

大臣表彰 性教育に貢献

や保護者も熱心に聞いてくれる」と話す。奈良県出身。助産師として多くの出産に携わった。性について、看護士の資格も持った知識を、関西の総合病院で看護師長も務めた。7年前から夫の故郷薩摩川内市で生活。学校を中心に性教育に関する講演を行っている。他の助産師とつくりたい任意団体「いのちを

消防の在り方 検討委初会合

南さつま市

南さつま市の消防本部と消防署の在り方を検討する委員会の初会合が20日、市防災センターであったⅡ写真。人口減少や施設老朽化を見据え、効率的な体制づくりが目的。意見

を集約し、秋ごろ本坊輝雄市長に答申する。市内には加世田東本町の同一施設に消防本部と南さつま消防署があり、金峰、大笠、坊津に分遣所を置く。総人員は88人。築40年超で老朽化が進む金峰分遣所は、敷地を隣に整備する小中用地とすることが決まっている。4月からの



消防、金峰、新体、つ。会、成。世田、員協、さん（